

VOICE

【ヴォイス】

Vol. 39

2024-2025 WINTER
December, January, February, March

VOICE
特集

看護師・医師の視点を併せ持ち
患者さんとチーム医療に貢献する診療看護師(NP)

リレーメッセージ／お薬について教えて!!
INTERVIEW／婦人科
連携クリニック／阿波座とい内科クリニック
大阪なんば内科・消化器内視鏡クリニック
多根記念眼科病院
多根クリニック
亀望会
居宅介護支援事業所より
HAPPY RECIPE／りんごケーキ
INFORMATION



看護師・医師の視点を併せ持ち 患者さんとチーム医療に貢献する

診療看護師(NP)

※日本におけるナースプラクティショナーは「診療看護師(NP)」という呼称となっています。

「診療看護師(以下NP)」は、看護師の資格を持ち、医師の指示のもとで診療行為を行うことができる新たな職種とも言われています。日本におけるNPは諸外国とは違い、特定の法律や制度に基づいているわけではなく、医療機関によってその役割や業務が異なっているのが現状です。2024年4月に資格を取得し、治療と看護の両面で活躍している矢野晋看護師に、診療看護師(NP)の役割と実際の業務について聞きました。



◆診療看護師とは？

1965年にアメリカで「ナースプラクティショナー」という制度が生まれました。看護の基盤を持ちながら、一定レベルの診断や治療などを行う「看護師」と定義され、現在はアメリカの医療を支える上でなくてはならない存在になっています。日本では2010(平成22)年に同様の役割を担う「診療看護師(以下NP)」の資格試験を開始し、有資格者を増やしています。

NPの多くは、医師の指示のもとで代行入力という形式で診療行為を行っています。例えば、患者さんの初期評価、診断の補助、処置や治療の実施、健康教育などが含まれます。患者さんの状態を観察し、必要に応じて医師に報告する役割も担います。

NPは、総合病院やクリニック、地域医療機関など、さまざまな医療現場で働いています。現在、特に急性期医療や地域医療においてそれぞれの役割を果たしていることが多いです。看護師としての基礎的な知識に加え、専門的なスキルを持ち、医師不足や超高齢社会において、地域医療の質を向上させるための重要な役割を担う存在として期待されています。

診療看護師 (NP) は 医師の負担・不足を 補う役割

日本ではまだまだ聞き慣れない「診療看護師(以下NP)」という名称ですが、アメリカでは60年前に始まった制度です。当時のアメリカも、医師不足や医療費の高騰など現在の日本と似たような状況にあり、医師不足が深刻な過疎地などでは、致し方なく看護師が診療や処置を行っていたそうです。そうした実情に即して法制化し、看護師が従来の範疇を超えた医療行為を行えるようにするために生まれたのがNPです。

時事解説誌『USニューズ・アンド・ワールド・レポート』が毎年発表しているベストジョブランキング100において、今年は1位、2022・2023年も2位と上位にランク入りしており、アメリカでは非常に人気も注目度も高い資格と言えます。

海外では医師の診療と教育を受けたNPの診療にはほとんど精度の差がないという研究データもあり、

医師の負担の軽減が見込まれることから日本でも導入されました。

日本ではNPを「患者のQOL(生活の質)向上のために、医師や多職種と連携・協働し、倫理的かつ科学的根拠に基づき一定レベルの診療を行う看護師」と定義しています。看護師として5年以上の実務経験を経た上で、日本NP教育大学院協議会が認める大学院で2年のNP教育課程を修了した者が、NP資格認定試験を受けることができます。アメリカには35万人以上のナースプラクティショナーがいますが、日本のNPは872名(2024年4月時点)とまだまだ少ない状況です。しかし近年では毎年100名単位で増加しており、急激に数を増やしています。

看護師・医師の視点で 円滑な橋渡しを

NPとして患者さんに病状説明や退院後の説明をすると、とても安心していただけます。専門用語ではなくわかりやすく噛み砕いた言葉を使い、医療者としての見地

に基づきながら、患者さんの話に傾聴し、暮らしにまで配慮した説明ができるのはNPならではの役割です。これまで看護師として患者さんと接してきたので、病棟での生活だけでなく退院後の暮らしまでイメージして、診療や説明に反映できるのだと思います。

また、食事はきちんと摂れているか、水分は十分か、早くシャワーを浴びられるように工夫できないか、少しでも歩けるようにしたいなど、QOL(生活の質)を上げるための視点も大切にしています。例えば、点滴を更新するタイミングが夜中だと、静かに作業をしても物音で患者さんが起きてしまうことがあります。看護師としてそういった経験をしているからこそ、あえて点滴の時間をずらし、患者さんの睡眠を確保するといった工夫もしています。

一方で、常に医師と行動し指導してもらっているの、今まで以上に医師の多忙さを間近で実感でき、だからこそNPとしてできるだけサポート

したいと心がけています。

また、医師の考え方の理解が進んだことで、多職種から相談を受けることが増えました。多忙な医師に聞きづらい小さな疑問でも、NPなら聞きやすいでしょう。看護師だけでなく臨床工学技士、管理栄養士、薬剤師、ほかにも若い医師から頼られることもあり、とてもやりがいを感じています。

もともと看護師はチーム医療の中でもキーパーソンの役割ですが、NPは各職種をより密につなぎ、チーム医療を円滑に進められる立場にあります。そして円滑なチーム医療は、必ず患者さんの利益となって還元されると信じています。



診療看護師 (NP)
矢野 晋
Yano Susumu

矢野NPの仕事 —— 医師に準ずる幅広い 業務を行っています！

実際の医療現場でNPがどのように活動しているかは、病院によ

ってそれぞれ違うと思います。私の場合、現在は外科のNPとして研修しています。今後はさらに消化器内科、麻酔科、救急科など各診療科をローテーションし、幅広い知識を身につけていく予定です。

一日の業務の流れは、午前中に入院患者さんを回診し、その後は回診の結果に基づいて検査のオーダー、薬や点滴の処方、カルテの記入、そのほかさまざまな処置の指示などを自身で行っています。NPには指導医師がついているので、これらの医療行為は医師に相談し、承認を得た上で代行オーダーというかたちで行っています。

また、私は特定看護師(※)の研修も修了しているのですが、依頼があれば特定行為にあたる処置を行ったり、特定看護師の指導役も担ったり

しています。午後は午前中にできなかった業務に加えて手術創に感染がないか確認するSSI回診やカンファレンスなどを行い、夕方には指導医師と共に回診し翌日以降の点滴や検査の確認をしています。

毎週火曜日は9時から夕方まで手術があり、助手として手術室に入ります。手術時のカメラ操作やお腹の傷を閉じる閉創といった処置も助手(スコピスト)として行っています。また手術前のカルテチェックや手術後の採血、点滴など、手術前後にもさまざまな業務があります。

医師が治療の補助と判断した範囲であればさまざまな医療行為に携われるので、例えば手術中に病棟の患者さんの急変があった場合などは、医師は手術に集中し、NPが処置にあたるといったこともできます。

また、週に一度救急の当直もしています。NPになっていきなり救急の対応は難しいかもしれませんが、私はクリティカルケア認定看護師



診療看護師(NP)の これからの課題

しかし、現在日本のNP制度に

の資格を取得し、救急領域で15年間勤めてきた経験もあるので、その経験を活かして救急患者さんの初期診療や縫合・薬の処方など救急外来の一連の業務はすべて対応させていただいています。

※特定看護師 38ある医療行為を実践するために必要な高度な知識と技術を指定機関で学び修了認定を受けた看護師のこと。

はまだまだ問題点が多いです。その一つに法的な問題があげられます。

日本では法的な整備が進んでいません。そのためNPの位置づけが明確でなく、業務内容や権限に関する誤解が生じやすい現状があります。また、NPという存在が一般の人々や医療関係者の間での認知度が低いため、どのような業務を行うのか、役割や重要性が十分に認識されていません。医療機関によつてNPの役割が十分に活用

されていないケースもあるようです。

す。今後、このような法的な問題が

解決し、認知度が向上することで、

医療現場での安心と安全な医療の

提供につながると思っています。私の場

合は、院長や指導医師である細田

医師のNPへの理解が大きく、働き

やすい環境で業務することができ

ていて恵まれた環境だと感じしてい

ます。そうした環境にいる私のよう

なNPが多く実績を報告し、法制

化にむけて寄与していく必要があ

ると認知しています。

診療看護師 (NP) としての目標

地域医療や高齢者医療のニーズ
が高まる中で、今後、NPが果たす
べき役割は大きくなるのではない
かと考えています。私を含めた
NPの活躍により諸外国のように
法制化が進むことで、NPの役割
がより明確になり、業務範囲や責
任が定義されることを期待してい
ます。そのためにも日々患者さんの
ために努力し、最善の医療と看護

を提供してまいります。

個人的な目標ですが、これからさ

まざまな診療科をローテーションし

ていき、幅広い知識を得て患者さん

に還元したいと思っています。NPとし

ては今年4月から勤務したばかり

ですが、当院のような急性期病院

では、状態の不安定な患者さんも

多いので、迅速かつ適切な身体評

価をリアルタイムで診療につなげ

ることで患者さんの安全を確保し

ていきたいです。また、医師と協働

し役割を分担することができれば

医療提供効率も向上すると確信

しています。忙しい医師に代わり、

病状説明などのコミュニケーション

や健康教育を行うことで患者さん

やご家族の安心感を得られるよう

にしていきたいと思っています。い

ずれはNPが訪問看護にも携わ

ることで、看護の特性を活かして

在宅療養の患者さんにより手厚い

ケアを提供できるのではと考えて

います。さらに、各職種の間を取り

持つ役割を担ってチーム医療の要

となり、スタッフにも還元できたら

いいですね。

NPになつてから、元気に回復し

た患者さんから退院される際に声

をかけていただくことが多くなり、

とても励みになっています。どんな
ことでもご相談いただけたら真摯
に対応いたしますので、お気軽にお
声がけください。

診療看護師(以下NP)は今後

活躍の場を大きく広げるべき職

種であると考えています。医療の

発展により業務は細分化され、

それぞれの高い専門性が求めら

れる中でチーム医療、多職種の

連携は非常に大事なことです。

NPの役割の一つが多職種間のつ

なぎ役だと思っています。

NPは現在国家資格ではなく、

日本NP教育大学院協議会によ

る資格認定(大学院修士課程修

了と資格試験合格)であり、業務

上の裁量権は従事する各医療機

関に委ねられています。NPの業

務は医師の指示のもとという大

原則があり、その中で当院におい

てNPとして研修を始めた

のが矢野NPです。医師が

NPに裁量権を委ねるた



肝胆膵外科部長

細田 洋平

Hosoda, Yohhei

特定行為・診療看護師管理委員会 委員長

RELAY MESSAGE

リレー
メッセージ

From
薬剤部

お薬について教えて!!

医師の診察後に薬を処方してもらったことがありますよね。でも、薬に関して分からないことはありませんか？今回は質問が多い3つのことについて薬剤部の南口^{みなみぐち いせと}勇人薬剤師に聞きました。

Q いつも「お薬手帳を持っていますか？」って聞かれますが、この手帳はどんな役割があって、持っていたら良いことって何でしょうか。

A 私はいつも、「この手帳があれば、お薬の内容をすぐに伝えることができ、飲み合わせ等も確認してもらえます」とお伝えしています。アレルギーや副作用歴だけでなく、常用されている市販薬やサプリメントを記載できるので、飲み合わせなども確認してもらえます。以前災害時の状況を知る機会があり、停電すると電子カルテは役に立たず、患者さんの薬のデータも分からなくなってしまつと聞



きました。薬は多くなればなるほど把握は難しくなってきました。ですが、手元に薬がなくともお薬手帳があれば確認でき、必要な薬をチェックしてもらえます。そこで、私がおすすめるのは、災害時にも必ず持ち出せる診察券とセットになったお薬手帳ケースを準備することです。常用薬

がある方は肌身離さず持つておきましょう。人によっては医療機関や薬局ごとにお薬手帳を分けている方がいらっしゃると思いますが、これではすべての薬が把握できないので、1冊にまとめましょう。

Q 薬局で、「この薬は後発医薬品（ジェネリック医薬品）があります。が、いかがでしょうか」と聞かれます。このジェネリック医薬品って何でしょうか。また、この薬にして大丈夫なんでしょうか。

A 私が大学生の頃、ジェネリック医薬品（以下ジェネリック）が拡がりつつあると講義で聞いたのを覚えています。ジェネリック（後発品）とは新薬と同じ有効成分を使って、品質や効き目、安全性が同等であると国に承認されたお薬です。有効成分は全く同じですが、その薬の添加剤等は異なります。効果を考えれば新薬と同じ薬と

考えていいと思います。

また、ジェネリックは開発費用がかかっていないため、コストが低く抑えられています。飲みやすくする工夫や扱いやすくする工夫などを行っているお薬もあります。それでもやはり馴染みのある名前ではないため、とても不安に思われる方もいると思います。そんなときこそ薬剤師に聞いてみてください。きっと少しは安心できると思いますよ。私ももちろん、できる限りジェネリックを希望しています。

今年10月1日から、ジェネリックがある先発品を希望される場合、自己負担を求められる「選定療養」扱いとなる制度が開始されました。詳しくは、医師、薬剤師にご相談ください。

Q 処方箋を持って薬局に行くと、薬と一緒に紙（薬剤情報提供書）が入っています。薬の写真と文章が書かれているのですが、これは何のためか、そして見方を教えてください。

A いわゆるお薬の説明書ですね。今ではネットで調べれば薬の情報を手に入れることができますが、お渡ししている説明書には端的に、飲み方、主な薬の効

果、副作用などが記載されており、薬に関する情報が分かりやすくなっています。

実は薬によっては効果効能、副作用がたくさんありすぎて、薬剤師の私たちでも全て把握するのは難しいものがあります。その患者さんにとって一番必要な情報を抜粋して、お伝えできる用紙がお薬の説明書です。

また写真があることで、もし薬を落としても、確実に薬の内容を把握することができます。患者さんによってはお薬の説明書をフアイリングしている方がいます。切り貼りできるので、工夫一つで自分だけの説明書をつくることができますね。とても上手に活用されていて、嬉しく思います。お薬の説明書は捨てずに、ぜひお薬とセットにしてお持ちください。



薬剤師からのメッセージ



皆さん、これでお薬手帳やお薬の説明書の大切さについて、またジェネリック医薬品について伝わりましたでしょうか？ 毎日お薬を飲まれる方にとってはすでにご存知のことかもしれませんが、ぜひこの機会に、ご家族や介助される方にも知っていただければと思います。

急な病気で倒れ、話せない状態で搬送された際、お薬手帳は常用薬を確認できる重要な情報となります。早く知らせることで、より最適な治療を受けることができます。これを機にどこにお薬手帳やお薬の説明書を保管しているか把握しておいてくださいね。

Q 婦人科のスタッフ体制について教えてください。

A 現在は私と非常勤の中川美生医師の2人体制で婦人科診療を行っています。
中川医師は私が大阪警察病院産婦人科で勤務していた時の同僚です。薬剤師の免許を携えた幅広い知識を持つとても頼りになる女医さんです。大阪警察病院時代は一緒に多くの手術に関わってきました。

Q 主な診療内容について教えてください。

A 外来診療では特に疾患を問わず受診していただくようにしています。子宮・卵巣の疾患から、月経関連症状、更年期症状、陰部のかゆみや下垂感など幅広く対応しています。
手術治療は主に良性疾患を中心とした手術を行っています。婦人科手術では腔式、開腹、腹腔鏡下、ロボット支援下手術と様々なアプローチによる術式があります。が、症例に応じて適切な手術治療を提案させていただきます。

Q 子宮がんの検診やHPVワクチン(子宮頸がんワクチン)も当院で受けられますか。

A はい。子宮がん検診とHPVワクチンは以前から当院でも可能でしたが、外来診療が週2回であったため受診しにくい状況でした。現在は毎日外来診療を行うことでより受診しやすい環境に改善されました。また9つのHPVの型をカバーした9価ワクチンのシルガード9の接種が当院でも可能になりました。

INTERVIEW

婦人科

昨年(2023年)10月、当院の婦人科にエキスパートの塚原 稚香子医師が着任しました。

Q 婦人科領域でもロボット手術が広がっています。ありますが、塚原医師はダビンチ手術の資格をお持ちだそうですね。

A はい。以前勤務していた大阪警察病院では骨盤臓器脱手術を専門に手術をしていましたが、骨盤底の手術はロボットのほうが操作しやすいので、当時の上司にお願いしてロボット手術を早く始めることができました。その後症例を重ね、プロクターの資格を取得、婦人科ロボット手術を指導できるメンターとしてIntuitive Surgical社より認定されました。



何でも相談できる婦人科です。
お困りのことがあればまずは気軽に
受診してみてください。

Q その他、新体制で強化されたこと、これから強化されることはどのようなことでしょうか。

A 私の着任後、外来診療を拡大し、手術治療を開始しました。外来診療では一般外来を設けていますが、今後更年期外来や骨盤臓器脱外来など専門外来を設置し、患者さんにとってさらにわかりやすく受診しやすい環境を整えていきたいと考えています。手術治療はまだ婦人科手術の実績がないのでロボット手術をすぐにはできないのですが、今後手術症例が多くなればロボット手術も開始したいと思っています。

連携クリニック

連携クリニックとは

病院とクリニックとが互いに緊密に手を取り合い、適切で切れ目のない医療提供の実現を目指すためのネットワークです。当院でも安心して治療を受けていただけるよう地域のクリニックにご登録いただいております。

阿波座とい内科クリニック

【診療科目】内科、糖尿病内科、内分泌内科

<https://toi-cl.com/>

大阪メトロ千日前線・中央線の阿波座駅すぐのショッピングモールの2階に今年の5月に開院した阿波座とい内科クリニック。お車でも通院できる便利なクリニックです。

—都井律和院長は糖尿病内分泌疾患の専門医ですね。

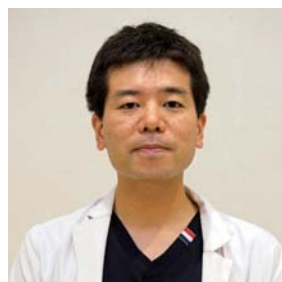
大阪市立大学医学部医学科（現：大阪公立大学）を卒業し、臨床研修修了後は同大学院医学研究科の代謝内分泌病態内科学に入学し、日々糖尿病や甲状腺、骨粗鬆症などの内分泌疾患の診療や研究に従事していました。その後、総合病院でも糖尿病・甲状腺・内分泌外来を担当していたのですが、週1回の外来で診療していると、状態が悪化しているのに我慢したり、不安なまま過ごされている方もいらっしゃる、毎日患者さんと向き合った診療をしたいと強く思い今年の5月に開院しました。

—ショッピングモールの中にあるので日常的な体調不良も診ていただけますね。

はい。専門的な診療だけでなく風邪や胃腸炎、リウマチ、睡眠時無呼吸症候群など総合的に診させていただきます。また、AI機能を搭載したエックス線検査などの各種検査や、プラセンタ注射、疲労回復（ビタミン）注射の自費診療も行っています。

—メッセージをお願いいたします。

WEB予約やWEB問診、診療費後払いシステムなども活用し、待ち時間短縮に努めています。小さなことでも気軽にご相談ください。



院長 **と い のり かず**
都井 律和

趣味／旅行

〒550-0012
大阪市西区立売堀6-3-8
フレスポ阿波座2F

TEL:06-6978-8573



阿波座とい内科クリニック



医療法人篤真会 大阪なんば内科・消化器内視鏡クリニック

【診療科目】内科、消化器内科、内視鏡内科、肝臓内科、肛門内科

<https://www.namba-endoscopy.com/>

大阪メトロ御堂筋線なんば駅から直結し徒歩1分のところにある大阪なんば内科・消化器内視鏡クリニック。年間360日以上、土曜・日曜・祝日も診察していただきます。

—広くて綺麗なクリニックですね。

100坪超の敷地に、内科と消化器内科・内視鏡内科の入口を別々に設け、それぞれに診察室が2室あります。そして内視鏡検査室は4室、完全個室のトイレ付前処置室を2室、広々としたリカバリールームなどを設けています。

—胃・大腸カメラの同日検査が可能なのは助かります。

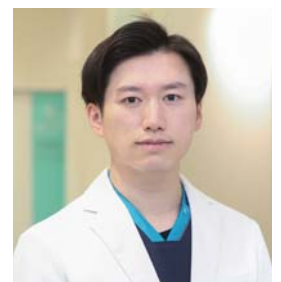
早期発見・早期治療が第一なので、まずは検査をしていただきたいと思っています。一方で、初診の方は内視鏡検査を受けたことがなく不安を持たれている方も多いので、検査前後には文章だけでなく動画などを利用しわかりやすい説明を心がけています。また、当日の胃カメラ検査や女性医師も常勤し、患者さんの状況やご希望にもお応えしています。

—内視鏡検査以外でも専門性のある診察をされています。

「敷居はコンビニなみに低く、専門性は大学病院なみに高い」を目標としています。発熱、腸炎、生活習慣病などはもちろん、大腸内視鏡検査での日帰り大腸ポリープ切除、肝臓専門医による肝疾患外来が人気です。

—メッセージをお願いいたします。

来てよかったと思っていただけるよう、自分の家族に行うような丁寧な診察および内視鏡検査を心がけています。



院長 **お く ひ さ のり**
奥 久徳

趣味／旅行

〒556-0011
大阪市浪速区難波中1-6-8
Osaka Metroなんばビル3F

TEL:06-6631-0500



医療法人篤真会
大阪なんば内科・消化器内視鏡クリニック





多根記念眼科病院

「第6回 アイリスの会」 開催報告

病診連携の会「第6回アイリスの会」を、去る9月14日(土)、ホテルモントレ グラスミア大阪にて開催いたしました。

今回は大路正人院長の新体制での初開催で、日本眼科学会専門医制度生涯教育事業の対象となったこともあり、86名にのぼる多数の先生方にご参加いただきました。

多根一之理事長の挨拶に続き、一般講演では当院で実施している診療内容を紹介いたしました。

当院の大塚友貴医師からは眼内レンズの強膜内固定について、越智靖之医師からは硝子体出血の原因と治療について、大江雅子医師からは抗がん剤の眼への副作用についての講演がありました。

また、田中綾美視能訓練士からは多焦点眼内レンズ手術におけるマルチコーディネーターの役割について、地域連携室からは、令和5年度の初診紹介件数についての報告および地域連携室を通しての事前予約システムについての説明がありました。



大路正人院長

特別講演では大路院長より「網膜硝子体疾患の診療Up-to-Date」と題して、OCT angiographyが安全で信頼性のある検査として認知されつつある状況や、VEGF阻害薬による治療の適応の拡大、適切な治療レジメの確立による治療成績の向上など、網膜硝子体疾患の診断、治療の現状の紹介がありました。

講演の最後には院長就任後の取り組みや各医局員の専門分野が紹介されるなど、病診連携への期待の大きさがうかがえました。

懇親会にも多くの先生方にご参加いただき、地域の先生方と直接顔をあわせての交流の場を持つことができ、たいへん貴重な機会となりました。この経験を活かし、今後も本会が病診連携に寄与していけるよう、職員一同努力していきたいと思っております。



多根クリニック

巡回健診について

今回は、巡回健診についてご紹介します。



多根クリニックでは地域住民様や企業様のご要望に素早くお応えできるよう、目的別に選択可能な健診コースを複数ご用意しています。また、系列の多根総合病院や多根記念眼科病院とも連携しており、健診後のフォローアップ体制でも皆さんの健康をお守りします。

【健康診断の種類】

1. 一般健康診断

雇入時の健康診断、定期健康診断、特定業務従事者の健康診断など

2. 特殊健康診断

じん肺健康診断、石綿健康診断、有機溶剤健康診断、特定化学物質健康診断など

3. 行政指導による主な健康診断

騒音作業健康診断 など

4. 特定健康診査(特定健診)

特定保健指導

5. 生活習慣病健康診断

6. 協会けんぽ一般健診

7. その他各種健康診断



KHS (きつこう会ヘルスケアシステム) の健康診断 ～健康である今だからこそ受診しましょう!～

多根クリニックでは健康維持を身近なものにさせていただくため、巡回健診、施設健診のどちらでもご受診可能な体制・設備を整えていますのでぜひご利用ください。

※ただし、施設健診の方が巡回健診では実施できない検査も充実しています。

また、各企業様向けにさまざまな健康診断を承っています。

健康診断後のアフターフォローもKHSなら万全で安心です。一般健診・特殊健康診断・巡回健診等、企業の皆様のご要望に応じて、さまざまなサービスをご提供しています。企業様や業種によりご要望は異なりますが、多根クリニックでは皆様のご要望に適切に対応し、ご提案が可能です。お気軽にお問い合わせください。



※お申し込みおよび上記内容にてご不明点などございましたら下記までご連絡ください。

社会医療法人きつこう会 **多根クリニック**

お問い合わせ先 06 (6577) 1881

日本人間ドック学会・健康施設機能評価認定

日本総合健診医学会 優良施設認定・日本脳ドック学会 認定施設

大阪市港区弁天1丁目2番 2-600号

大阪ペイタワー ペイタワーイースト6階



vol.26 「より良い介護を目指して」

見守りセンサー

コニカミノルタ製『HitomeQケアサポート』を導入

特別養護老人ホーム 江之子島コスモス苑

近年は高齢化が進み介護需要が増大していますが、働き手の減少により介護職員の確保が難しくなっています。そのため、介護職員の負担を軽減しつつ介護現場を魅力的なものとするために、生産性の向上が求められるようになりました。その方法の一つとして、ICT（情報通信技術）等のテクノロジーの活用が推奨されています。

コスモス苑では、以前から移乗用のリフトを取り入れたり、日常業務のみを行う職員を導入するなど、生産性の向上に取り組んでまいりました。そして今年の3月からは最新の「見守りセンサー」の導入に踏み切りました。

導入した見守りセンサーは、コニカミノルタ製の「HitomeQケアサポート」です。



コニカミノルタ製「HitomeQケアサポート」

すべての居室に行動分析センサーを設置して、映像により居室内での動きを把握して職員の持つスマートフォンに通知を出すといった仕組みです。

ベッドから起き始めた時、ベッドから離れた時、床に倒れて動けなくなった時など、種類に分けてスマートフォンに通知することができます。職員は届いた通知と映像をみて、確認を行ったり、話しかけたり、駆けつけたりと状況に応じた対応を行います。個別にどの通知を受けか決めているので、一人で自由に動ける方ですべての行動チェックはしないようにしています。また、プライバシーの配慮として、希望のある方は映像をぼかして使うこともできます。

施設では、ベッドから上手く起き上がれずに転落し

てしまったり、ベッドからの歩き出しにふらついて転んでしまったり、靴が上手く履けずに転んでしまう等、ベッド周辺での転倒事故が多く発生しています。事故が起こった時には動画が記録されるので、事故の状況を確認してその後の環境作りや、援助のタイミングを考えて適切な支援に繋げていくことができます。今までは知ることができなかった動きがわかることで、ご利用者さんの理解が深まり、事故予防の取り組みが進みました。

見守りセンサーが導入されるまでは、夜間は1時間に1回巡回を行っていました。頻回な巡回は職員の負担にもなるのと同時に、様子を見に行くことで寝ている方を起こしてしまうこともありました。見守りセンサーが導入されたことでこの2点は解消され、夜間の職員に余裕が生まれました。

見守りセンサーを導入してから約半年、使い方には慣れましたが、得られる情報を最大限に活用するにはまだ時間がかかりそうです。これからも職員が働きやすい環境作りと、皆様に安心して過ごしていただける介護を提供できるように取り組んでまいります。



スタッフのスマートフォンで確認が可能



居宅介護支援事業所より



在宅での看取りについて

人生最期の時を病院で迎えることが多いというのは、皆さんの実感としてあると思います。ただ、最近では在宅で最期を迎えるという方が少しずつではありますが増えてきています。在宅看取りのメリットは、家族との時間をゆっくり過ごせることではないでしょうか。実際にご家族から、最期の時間をゆっくり家族で過ごせてよかったというご意見をよくいただきます。今回は在宅看取りについてお話ししたいと思います。まず在宅で看取りを希望された場合に、よく利用される在宅サービスについてご説明しましょう。

○**訪問診療**:看取りの時期は通院が困難になります。医師が自宅に来て診療してくれて診察や処方、必要に応じて点滴などの指示をしてくれます。

○**訪問看護**:看護師が自宅に来てくれるサービスです。病院と同じように看護師が医師の指示を受けて、点滴などの医療行為や保清などのケアをしてくれます。

訪問診療も訪問看護も24時間対応できる所に依頼するようにしています。夜間急変時にも必要に応じて訪問してくれるので、ケアマネジャーとして在宅看取り希望の患者さんを担当したときに、必要不可欠なサービスです。

その他、必要性の高いサービスとして福祉用具貸与と薬剤師の訪問サービスがあります。

○**福祉用具貸与**:主に介護用ベッドのレンタルになります。また床ずれ予防のマットレスをレンタルすることがあります。

○**薬剤師の訪問サービス**:看取りの時期は、痛みの緩和のために普段の生活では処方されない医療用麻薬などの薬が処方され、その管理が必要になったり、点滴などの指示が出たりする場合があります。そのようなときに薬剤師が訪問し、薬剤を家に持ってきて相談に乗ってくれたり、薬の管理をしてくれたりします。上記のサービスに比べると利用頻度は少ないですが、訪問介護(ヘルパー)や訪問入浴福祉用具(シャワーチェア)購入等を利用される方もいます。

ポイントとしては、在宅でも病院と同じような医療を受けることが可能であるということです。ただし在宅看取りにも当然デメリットはあります。

- ①医師や看護師は24時間対応可能であるが、病院のようにすぐ対応できるわけではない。
*自宅に到着するまでに時間がかかる。
- ②看取りには、介護が必要な状態になる時期がある。病院であればナースコールですぐ介護してくれるが、家では家族の介護か、または決められた時間にヘルパーなどが介護するだけである。
- ③在宅医療もそれなりにお金がかかる。医療費は3割負担の場合には訪問診療や訪問看護の利用料金も高額になる(資料1参照)。
- ④吸引などの医療行為を家族で行わなければならない場合がある。

自身の最期について大切な家族と話し合うことを「人生会議」(資料2参照)と言います。今回は看取り場所に限定してお話ししましたが、話し合うことは他にもいろいろあります。私たちが在宅支援者は、ご本人やご家族様の決定をサポートできるように考えています。ご不明な点がありましたら何でもご相談ください。

【資料1】

料金について

月に2回、自宅に医師が訪問した場合の訪問診療代

- ◆1割負担 月額6,000~7,500円程度
- ◆2割負担 月額12,000~14,000円程度
- ◆3割負担 月額18,000~21,000円程度



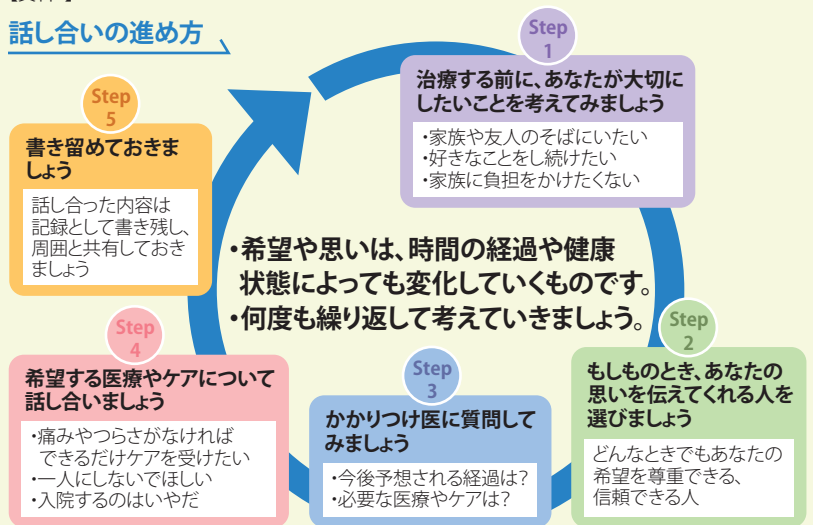
臨時に必要な医療費・薬代

- ◆往診 ◆お薬代 ◆検査や処置
- ◆特別な管理料 など

※訪問する医療機関の種類や訪問する場所、病気の種類により訪問診療代が異なります。
※その他必要に応じて在宅酸素の利用や自己注射などの管理料、点滴、検査、薬代が別途かかります。

【資料2】

話し合いの進め方



お問い合わせ先

多根総合病院 居宅介護支援事業所 TEL: 06-6536-8803 担当:日當

HAPPY RECIPE

ハッピーレシピ

今回のレシピ

りんごケーキ

医療技術部 栄養管理部門 管理栄養士
庄司 真央

【材料 (15cm丸型)】 1切れ:340kcal

●りんごのコンポート

りんご…2個(300g)

A)グラニュー糖…60g レモン汁…小さじ2 水…200ml

卵M～L…1個(50g) グラニュー糖…45g 牛乳…25g

溶かしバター(無塩)…60g

薄力粉…120g

アーモンドプードル…30g

ベーキングパウダー…3g

スライスアーモンド…適量

粉糖…適量



●作り方

<準備>りんごのコンポートを作る。りんごの皮をむいて5mm
くらいの厚さにスライスし、A)の材料を入れて20分弱火で煮る。

①ボウルに卵を割り入れ、よく混ぜる。さらにグラニュー糖を加えてよく混ぜる。

②①に牛乳、溶かしバターを順に加えて混ぜる。

③②に薄力粉、アーモンドプードル、ベーキングパウダーをふるい入れ、生地にツヤが出るまで切るように混ぜる。

④型に生地を流し入れて上にりんごのコンポートを並べる。

⑤全体にスライスアーモンドを散らす。

⑥180℃に温めたオーブンで40分焼いてできあがり。

※お好みで粉糖をかけてお召し上がりください。

今回は旬のりんごを使ったケーキをご紹介します。りんごには食物繊維やカリウムが多く含まれます。食物繊維は、腸内の善玉菌を増やして腸内環境を改善させるほか、血糖値上昇の抑制、血液中のコレステロール濃度を低下させるなどの役割があります。また、カリウムは腎臓でのナトリウムの再吸収を抑え、体外への排出を促すため、血圧を下げる効果が期待できます。カロリーが気になる方はりんごをコンポートせずにそのまま乗せて焼いても美味しいです。ぜひ作ってみてください。

COOKING POINT!

オーブンによって火力が違うので焼き時間と温度は目安として調整してください。りんごから出る水分で生地になかなか火が通らないときは500Wのレンジで30秒ずつ加熱して様子を見てください。

今号の表紙について

Q. 今回のイラストのテーマは？

A. 今回は「あたたかさ」と「安心」がテーマです。厳しい冬で身体が冷えて体調を崩してしまっても、病院に来ればあたたかい治療を受けて、安心感をもらえる、というイメージです。

Q. テーマをどのようなイラストで表現されましたか？

A. 病院を「クリスマス風のこたつ」で表現しています。屋上の土鍋は京セラドーム、障子は近隣のビルをイメージしています。病院の中に入ってみれば、自宅のこたつに入ったような安心感とあたたかさがある。元気になったお祝いにみんなでお鍋をいただくよこびも。お見舞いにはみかんを持った子供達も来てくれますよ。

Q. メッセージをお願いします。

A. 病気や体調不良で不安になってしまう気持ちが、病院での治療によって少しでも解消されますように、おだやかで安心できる日々が戻りますように、と願っています。

Profile

おだ こうへい



イラストレーター。大阪芸術大学デザイン学科卒。看板、カレンダー、お祝いイラスト等を手がけつつ絵本や童話的なイラストを描いています。最近は野菜や果物、お菓子をモチーフにした作品を制作中。

【HP】 <http://kitohito.com/>
【Instagram】 oda_kouhei_27



INFORMATION

第25回 多根総合病院 開放型病院登録医総会開催

2024年9月7日(土)、ホテル日航大阪にて開放型病院登録医総会を開催しました。当日は67名の登録医の先生方にお越しいただきました。当院からも68名の医師等が参加し、好評のうちに閉会いたしました。

総会では、小川 稔院長による開会挨拶の後、小川淳宏副院長による座長のもと以下の4題の学術講演を行いました。

◇大腸がんに対する治療について	外科部長 金浩敏
◇緩和的放射線治療を地域へ	緩和医療科 医長 和田 健太郎
◇多根総合病院の経鼻内視鏡手術	耳鼻咽喉科 部長 天津 久郎
◇膵がん早期診断 TANE-P プロジェクトと GERD の新治療 ARMS について	消化器内科 部長 浅井 哲 消化器内科 副部長 竹下 宏太郎

講演は、分かりやすいと地域の先生方も熱心に聞き入っておられ、講演後には多くの質問が出ました。



小川稔院長による開会の挨拶



満席の学術講演会場



金医師による講演



竹下医師による講演



閉会の挨拶を行う森副院長



放射線治療装置が1000日連続稼働を達成

当院の高精度放射線治療センターが、放射線治療装置メーカーであるVarian社から1000日連続稼働を表彰されました。

放射線治療装置は非常に複雑で精密なため、しっかりとした品質管理やメンテナンスを行わないと1日～数日停止してしまう可能性があります。連続稼働1000日はひとつの通過点としてとらえ、引き続き安全稼働に向けて努力してまいります。



大阪市 西区・港区・大正区

きつこう会ヘルスケアシステム施設

近隣主要病院・連携医療機関

MAP & 一覧



社会医療法人 きつこう会

理念

愛を原理とし、秩序を基礎とし、進歩を目的とす

方針

質の高い全人的な医療・介護・予防をシームレスに展開し、皆様に愛され信頼される存在となります

行動規範

私たちは感性を磨き、自らを高めています
私たちは一人一人の人格を尊重し幸せな暮らしを支えます
私たちは明るい健全な運営を行い社会へ貢献します

行動指針

自己研鑽 ~ Self Improvement ~ 常に自己を振り返り、自己研鑽に努めます
顧客中心志向 ~ Customer Engagement ~ あらゆる顧客と愛着ある深い絆を築きます
プロ意識 ~ Pride of a Professional ~ 自分たちの仕事に責任と誇りをもって取り組みます
共働・協調 ~ Teamwork ~ チームの一員であることを意識した行動の実践に努めます
意識改革 ~ Motivation & Challenge ~ 変わることを恐れず、新しいことへの挑戦を行います

きつこう会ヘルスケアシステム施設

- 多根記念眼科病院**
〒550-0024 大阪市西区境川 1-1-39 TEL.06-6581-5800
- 多根第二病院**
〒552-0021 大阪市港区築港 3-4-25 TEL.06-6599-1212
- 多根クリニック**
〒552-0007 大阪市港区弁天 1-2 大阪ペイタワー ペイタワーイースト6階
TEL.06-6577-1881
- 多根総合病院 居宅介護支援事業所**
〒550-0025 大阪市西区九条南 1-12-21 TEL.06-6536-8803
- ケアハウス コスモスガーデン**
〒550-0004 大阪市西区靱本町 3-6-18 TEL.06-6459-3221
- 多根脳神経リハビリテーション病院**
〒552-0011 大阪市港区南市岡 1-1-45 TEL.06-6585-2743
- 多根介護老人保健施設 てんぼーさん**
〒552-0021 大阪市港区築港 3-4-25 TEL.06-6599-1616
- きつこう会 多根訪問看護ステーション**
〒550-0025 大阪市西区九条南 1-12-21 TEL.06-6581-1651
- 特別養護老人ホーム 江之子島コスモス苑**
〒550-0006 大阪市西区江之子島 1-8-44 TEL.06-6225-2662
- コスモスのかぜ九条南**
〒550-0025 大阪市西区九条南 2-21-2-1階 TEL.06-6586-5572

編集後記

今月号の特集は診療看護師(NP)。最近ではテレビドラマでも取り上げられ、ご存じの方もおられるかと思います。一言で言えば、医師と看護師の間を埋める存在です。医師不足や働き方改革の影響で人材不足が深刻な中、今後NPの活躍がますます期待されます。まだまだ国内では少数で貴重なNPは、これからの病院には無くてはならない存在になると思われます。特集でじっくりご覧ください。



VOICE編集部

『VOICE』発行元/多根総合病院 2024年12月1日発行

※取材時はマスク着用で行い、撮影時のみ外しています。

多根総合病院

〒550-0025 大阪市西区九条南1-12-21
Tel.06-6581-1071 Fax.06-6581-2520
[診療時間] 平日 9:00~17:00



日本医療機能評価機構